

# 京浜急行大師線(東門前駅付近～小島新田駅付近) 連続立体交差の工事について



川 崎 市



京浜急行電鉄株式会社

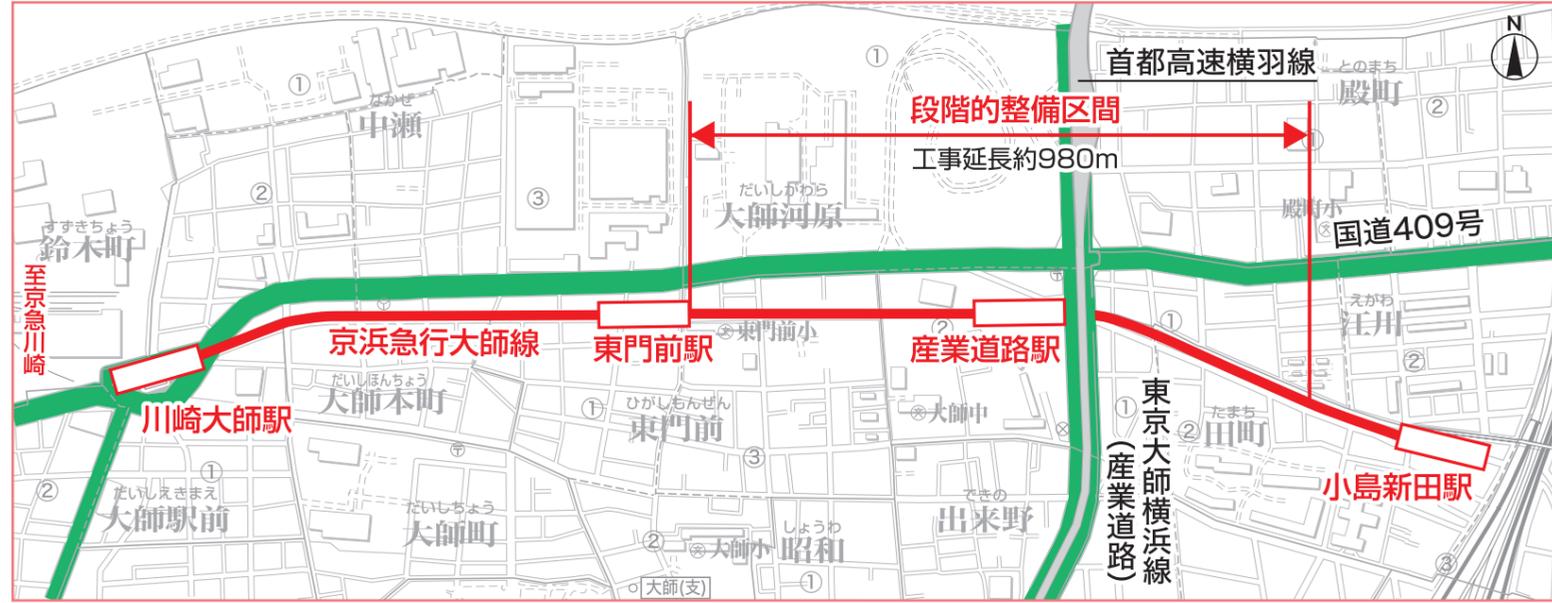
# 踏切のない快適なまちへ。踏切事故のない安心のまちへ。

## 事業のあらまし

京浜急行大師線連続立体交差事業は、大師線約5kmのほぼ全線を地下化することにより、東京大師横浜線（産業道路）をはじめとする計14カ所の踏切を除却し、道路交通の円滑化や踏切事故の解消、鉄道によって隔てられていた地域の一体化などを促進する事業です。

## 段階的整備

事業の効果を早期に発揮させるため、東門前駅付近～小島新田駅付近の約980mの区間において、段階的整備として地下化工事を行います。この工事により、産業道路を含む3カ所の踏切がなくなり、道路交通の円滑化や踏切事故の解消が図れます。沿線の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図及び数値地図2500(空間データ基盤)を使用したものである。(承認番号 平17総使、第161-13号)



## 計画概要

都市計画の名称 川崎都市計画  
都市高速鉄道 京浜急行大師線

事業区間 京急川崎駅～小島新田駅  
(川崎区駅前本町地内  
～川崎区田町二丁目地内)

延長 約5.0km  
(地下式約4.5km、地表式約0.5km)

除却踏切数 14カ所

都市計画決定 平成5年6月8日(神奈川県告示第595号)

都市計画事業認可 平成6年3月29日(神奈川県告示第263号)

段階的整備 東門前駅付近～小島新田駅付近

工事延長 約980m

除却踏切 3カ所  
(東門前第3、産業道路第1、産業道路第2)

# 暮らしに心地よく、人にやさしく。伝統の路線が生まれ変わります。

## 1 産業道路踏切を含む3カ所の踏切を除却します。

地下化工事により、両側8車線の幹線道路である「産業道路」の踏切など、3カ所の踏切を除却。渋滞の解消による道路交通の円滑化および、踏切事故の解消など安全性の向上を図り、生活環境および都市環境の改善をめざします。



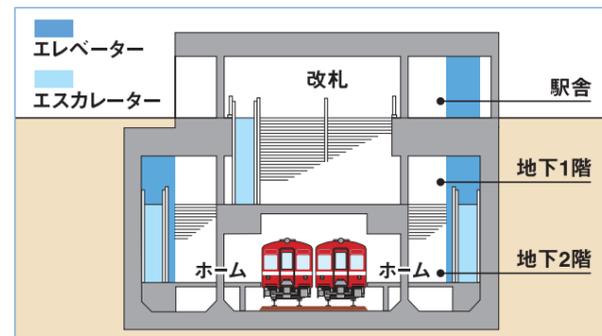
東門前第3踏切



産業道路第1踏切

## 2 産業道路駅地下化により、バリアフリーをさらに推進します。

地下化工事にあわせて、産業道路駅にエレベーター・エスカレーターを設置(現状はスロープを設置)。どなたも使いやすい「人にやさしい駅」を実現します。また駅構内踏切を除却するなど、安全性も向上します。



産業道路駅 完成予想イメージ図

## 完成イメージ

### 産業道路踏切



現況

### 完成



慢性的な交通渋滞を解消。(イメージ図)

### 産業道路駅



現況

### 完成

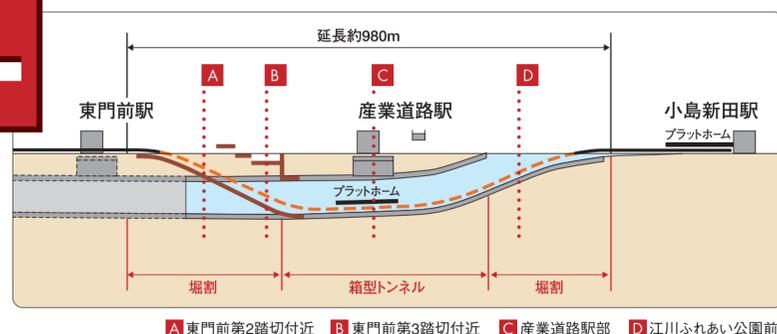


地下2階のホームへはエレベーターとエスカレーターの利用が可能。(イメージ図)

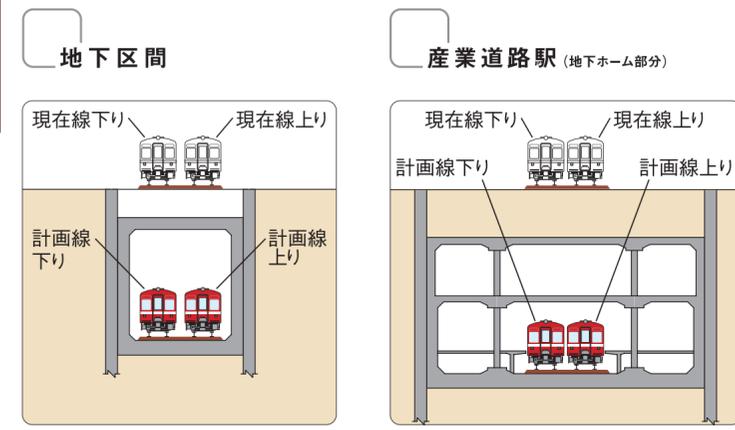
# 計画平面図



# 縦断面図



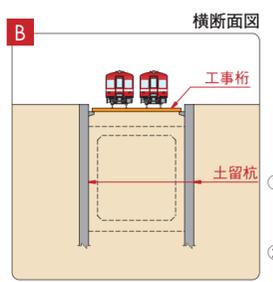
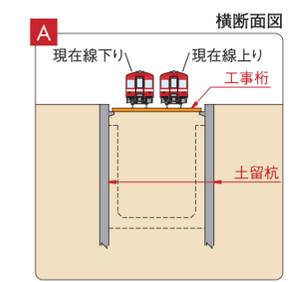
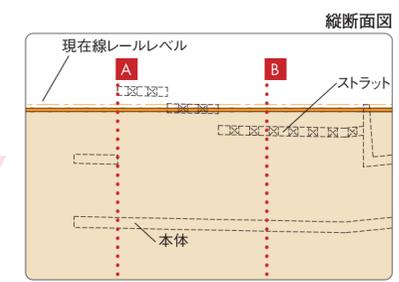
# 横断面図



# 施工順序図

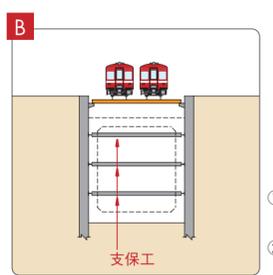
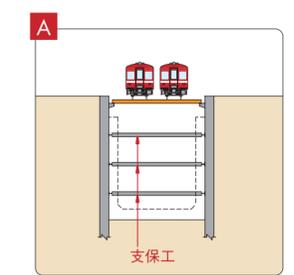
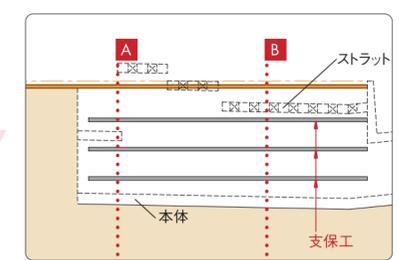
## STEP 1 土留杭・工事桁

### 東門前駅～産業道路駅



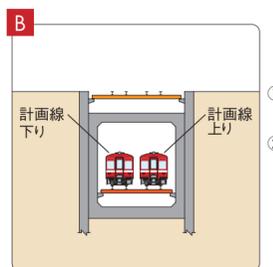
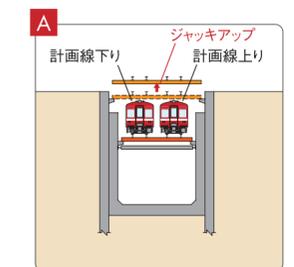
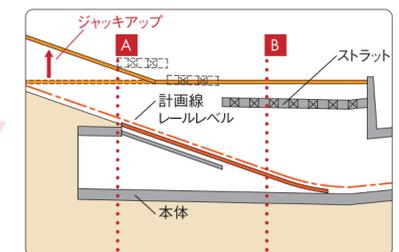
- ① 現在線下を掘削するための仮土留杭を打設します。
- ② 現在線を仮受けするための工事桁を敷設します。

## STEP 2 掘削・支保工



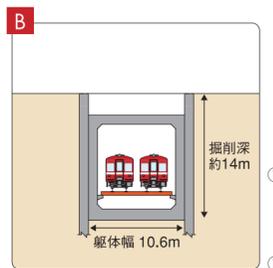
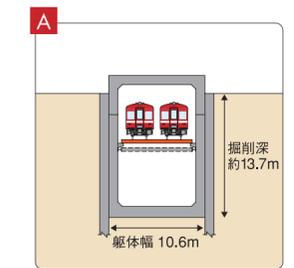
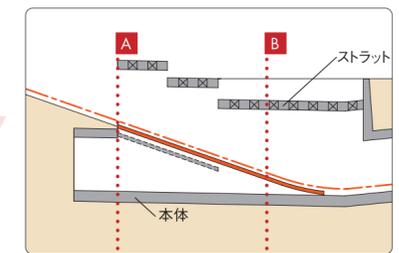
- ① 仮土留を支持するための支保工を架設します。
- ② 計画の深度まで掘削を行います。

## STEP 3 本体構築・切替



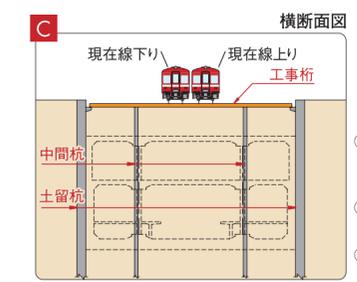
- ① 鉄筋コンクリートによる本体を構築します。
- ② 本体構築後、現在線を計画線に切り替えます。なお、工事桁のジャッキアップは、列車運行に支障しないよう、切り替え当日の夜間に行います。(A断面)

## STEP 4 完成

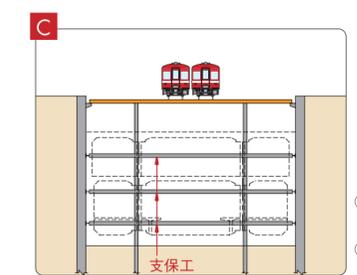


- A断面**  
① 上床板を構築して計画線下の支保工を撤去し、本体を完成させます。
- B断面**  
① 工事桁を撤去します。

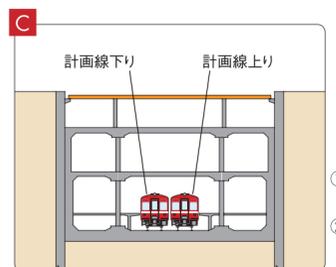
### 産業道路駅部



- ① 現在線下を掘削するための仮土留杭を打設します。
- ② 工事桁を仮受けするための中間杭を打設します。
- ③ 現在線を仮受けするための工事桁を敷設します。



- ① 仮土留を支持するための支保工を架設します。
- ② 計画の深度まで掘削を行います。

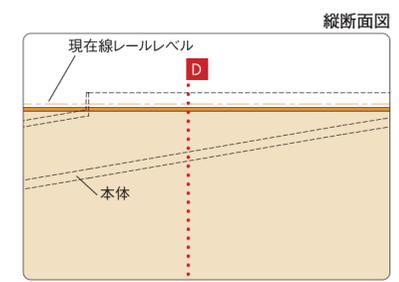


- ① 鉄筋コンクリートによる本体を構築します。
- ② 本体構築後、現在線を計画線に切り替えます。

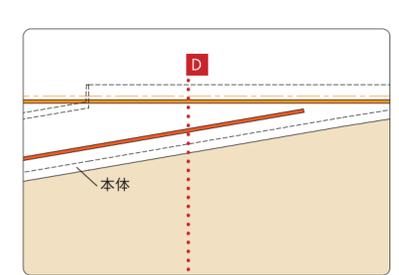


- ① 工事桁を撤去します。
- ② 本体の上を埋め戻します。

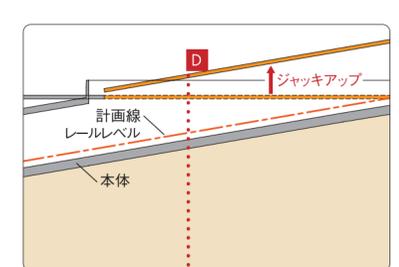
### 産業道路駅～小島新田駅



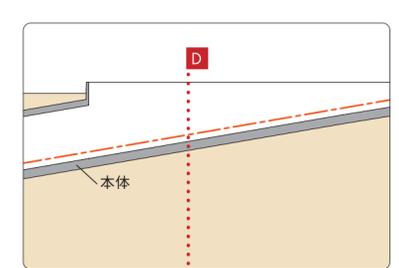
- ① 現在線下を掘削するための仮土留杭を打設します。
- ② 現在線を仮受けするための工事桁を敷設します。



- ① 仮土留を支持するための支保工を架設します。
- ② 計画の深度まで掘削を行います。



- ① 鉄筋コンクリートによる本体を構築します。
- ② 本体構築後、現在線を計画線に切り替えます。なお、工事桁のジャッキアップは、列車運行に支障しないよう、切り替え当日の夜間に行います。



- ① 仮土留と本体の間に埋め戻します。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図及び  
 数値地図2500(空間データ基盤)を使用したものである。(承認番号 平17総使、第161-13号)

—— 本事業についてのお問い合わせ先 ——

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 道路整備課

〒210-8577 神奈川県川崎市川崎区宮本町1番地  
 TEL.044-200-2747

京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 施設部 工務課

〒108-8625 東京都港区高輪2丁目20番20号  
 TEL.03-3280-9158

本事業は、川崎市の都市計画事業の道路整備の一環として  
 国土交通省の国庫補助を受けて施行するもので、  
 その財源は主にガソリン税、自動車重量税等です。

**R100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH  
**SOY INK**

印刷には大豆油インクを使用しています。  
 09.06.10.000